

当時の国民の民族意識を高め、国家を独立に導いたとされる。この功績にちなんで言われているが、フィリッポ・タチに比べて特別な意味を持つ作品です。

2曲目は説明が必要ないほど良く知られたチャイコフスキーの「バイオリン協奏曲ニ短調」です。今回のソリストである村田穂積さんは、現在ドイツ・カンマー・フィルハーモニー管弦楽団で活躍されていますが、伊東市の出身で伊豆フィルとは縁が深く、第2回定期演奏会でメンデルスゾーン、第14回定期演奏会ではベートーヴェンのバイオリン協奏曲で協演をしていただきました。ドイツを拠点に世界で活躍されている穂積さんと伊豆フィルとの3度目の協演をどうぞお楽しみください。

最後に演奏するのはラフマニノフの「交響曲第2番ホ短調」です。ラフマニノフと言えば、作曲家だけではなくピアノ演奏家としても有名で、作曲とピアノ演奏の二刀流で大きな成功を収めた音楽家でもあります。代表的な作品はアニメ『のだめカンタービレ』でも使われていたピアノ協奏曲第2番が挙げられますが、この交響曲第2番も豊かな抒情と哀愁漂うメロディーに溢れた交響曲で、グリーンガ賞という作曲家としての名誉も手にしました。作曲家人生のピークに作られたこの曲も、ラフマニノフの代表作として演奏会のメインプログラムによく取り上げられる名曲です。

村田 穂積 (ヴァイオリニスト) Hozumi Murata, Violinist

伊東市生まれ。4歳でヴァイオリンを始め、外岡協子、江藤俊哉各氏に師事。

伊東高校を卒業後、ブラハ音楽アカデミーに留学。M. ホロウニョヴァー、J.トマーシェック、L.コステツキー各教授に師事する。1980年、デンマークのカール・ニールセン国際コンクールに入賞。チェコ各地で開かれる音楽祭にソリストとして招かれ、ドヴォルザーク、シベリウス、チャイコフスキーなどの協奏曲を演奏する。その後ドイツへ移り、西ヨーロッパ各地で、N.ミルシュタイン、A.グルミオー、I.ギトリス、R.ファイン、N.プライニンなどに学ぶ。

現在はプレーメンに在住。ソロ、室内楽活動とともに、ドイツ・カンマーフィルハーモニーに在席。カンマーフィルとは、ラヴェル、パガニーニ、シュニトケなどの作品のソリストもつとめる。ヨーロッパをはじめ南北アメリカ、アジアなど世界を舞台に活躍中。

伊豆フィルハーモニー管弦楽団とメンデルスゾーン、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を、ストリングアンサンブル伊豆とはヴィヴァルディの四季を協演している。

和田 一樹 (指揮者) Kazuki Wada, Conductor

東京都中野区出身。

2011年ブラジルロンドリーナ音楽祭にて優秀賞受賞。2015年ルーマニアで開催された第6回ブカレスト国際指揮者コンクールにて準優勝。

2017年にはヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮しヨーロッパデビュー。オーケストラと聴衆から熱狂的に支持され、楽団の総監督より「最年少最優秀客演指揮者」の称号を受ける。以後、毎シーズンの客演を続けている。

ドラマ「のだめカンタービレ」、映画「マエストロ!」「くちびるに歌を」等において、玉木宏、竹中直人、西田敏行、木下半太、葵わかな、柄本明の指揮指導を担当。また、自身の作曲作品においては、京王電鉄・京王ライナーオリジナルBGMを作曲し、京王音楽祭にて、東京フィルハーモニー交響楽団の演奏で初演された。

これまでに、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、富士山静岡交響楽団、ジョルジェ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団、ヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団などと共演、国内外で指揮活動を展開している。

伊豆フィルハーモニー管弦楽団 Izu Philharmonic Orchestra



平成5年に創設され伊東市を中心に活動を行っている

♪ ♪ 団員募集 ♪ ♪

音楽好きの方を募集しています。一緒に演奏しませんか？

ぜひ見学にいらして下さい。

練習：日曜日午後(月2~3回)

宇佐美コミセン、はばたき、ひぐらし会館他

ホームページ：www.izu-phil.org

お問い合わせ：板垣 0557-32-0328 野口 090-8072-4614

